

15歳の春、なりたい自分に

東日本大震災が起きた15年前、君は小さな赤ちゃんだった。
寝返り。ハイハイ。つかまり立ち。歩き始め。一つ一つの出来事
が、かけがえのない宝物になった。

成長に伴ってアルバムの写真が増えていった。保育中に高熱を
出した君を急いで迎えに行ったことも、学校で友達とけんかした

君が泣いて家に帰ってきたことも、今では良い思い出だ。

中学に入ると、幼い頃と比べて口数が減った。

けれど、強い意志を胸に秘めていることは
知っている。日々部活動の練習に励んで
いた。一人机に向かい、受験勉強に取り
組んでいたね。

あの日から15年。

街は変化し、君は大きくなった。

震災に対する大人たちの思い、語ら
れる記憶を、どこかで感じながら生き
てきたのではないかなと思う。

君の進む未来が夢と希望にあふれ
ていきますように。

いつか、「なりたい自分」に

なれますように。

卒業 おめでとう

